

## オフィス環境の室内塵中微生物とアレルゲン量の検討

白井秀治<sup>1)</sup>、阪口雅弘<sup>2)</sup>、高鳥浩介<sup>3)</sup>、田中巧<sup>4)</sup>、渡邊直人<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>東京アレルギー・呼吸器疾患研究所、<sup>2)</sup>東京環境アレルギー研究所、<sup>3)</sup>カビ相談センター、<sup>4)</sup>ビアブル

**【目的】**オフィスにおける室内塵中の微生物（ダニ、カビ）およびアレルゲン（ダニ、ネコ、スギ花粉）量を調査した。

**【方法】**2019年12月に都内オフィスビル6棟(6事務所)、および住居5世帯を調査した。検体は室内塵とし、オフィスは執務室入口、執務エリア、会議室入口の3箇所の床面、住居ではリビングの床面から掃除機を用いて収集し、微生物はダニとカビ、アレルゲンはダニ Der 1、ネコ Fel d 1、スギ花粉 Cry j 1 を測定した。

**【結果】**オフィスのダニ数は住居に比べ少ない傾向で、採取位置による違いはなく、検出されたダニの多くはチリダニであり生存個体も認められた。オフィスのカビはアスペルギルス属、ペニシリウム、クラドスポリウム等が検出され、住居に比べカビ数が多くカビ相も異なった。ダニアレルゲン Der 1 は、住居に比べオフィスが少ない傾向であったが、オフィスでは Der p 1、住居では Der f 1 が検出優位であった。ネコアレルゲン Fel d 1 は全てのオフィスで検出された。スギ花粉アレルゲン Cry j 1 は1オフィスから検出された。

**【結論】**オフィスから主要な環境アレルゲンが検出され、微生物も住居と同等以上に検出された。個人暴露との関係はさらに検討が必要と考えられる。